ー にいがた青年海外協力隊を育てる会 会報紙 ー
The News Letter of The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

なじらね.jp

なじらね 秋 どっとじぇーぴー

平成 27（2015）年 9 月 30 日（水） 発行 - 第 14 号 -

【発行人】「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 会長 羽賀 友信 ／ 事務局長 横山 容司郎
The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA
【事務局】〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内
Tel. 025-234-1500 , Fax. 025-234-1002 , E-mail n-sodaterukai@alpha-bright.co.jp
URL http://n-sojocv-najirane.com
【題 字】藤田 美枝子（桃水） （※「なじらね」とは，新潟弁で「元気ですか？」の意味）
【編集人】広報文化専門委員会 山田 規央

The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

- NAJIRANE Headlines -

【巻頭言】「なじらね. jp」第14号の発行に寄せて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
【壱】平成27年度（第7回）総会の報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【弐】本県出身のJICAボランティア(JV & SV)が任国へ赴任！
（平成26年度4次隊，平成27年度1次隊） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
【参】本県出身JICAボランティアによる近況報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 － 7
【四】 世界から地域へ ー 青年海外協力隊発足50周年記念シンポジウム・・・・ 7
Information，壮行会&慰労会，広告，編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

にいがた青年海外協力隊を育てる会 検索

公式ホームページ随時更新中！ *Check it out !!*

【巻頭言】 「なじらね.jp」第14号の発行に寄せて

JICA新潟デスク・国際協力推進員
和田 直（わだ すなお）

今年三月に本田さんから引き継ぎまして新潟県国際協力推進員を務めております和田直です．どうぞよろしくお願い致します．

私は新潟市で生まれ育ちましたが，大学進学のために東京に出て，その後数年働き，青年海外協力隊に参加しました．派遣されたのはベナン共和国．赴任先は，中部に位置するサヴェという地域の福祉センターでした．そこで村落開発普及員として，障害者や恵まれない子ども，女性などの支援に携わりました．赴任当初はいろいろな活動を提案していましたが，最終的に取り組めたのはそのうちの半分，異文化のなかでの難しさも経験し，ひとりよりふたり，協力者の存在のありがたみを痛感しました．

JICA新潟デスクでは地域のJICA窓口としての業務の他，学校の先生や市民の方々からのご依頼でJICAボランティアの体験談をお話しする機会を頂いています．国際協力にあまり関心をもってこなかった人にとっても「国際協力ってなに? なんで必要なの?? どんな方法があるの???」などについて考えるきっかけになればと思っています．一人ひとりの一歩は小さいかもしれないけれど，100人200人集まれば大きな一歩になります．

今年で青年海外協力隊発足50周年を迎えますが，50年の歩みを次の一歩へとつなげるべく，本県を中心とし育てる会への参加の輪を広げ，皆さんと協力して100年へ向けて足元の一歩一歩を大切に歩んでいければと思っています．今後とも，JICA新潟デスク，JICA事業へのご理解とご協力を賜れますよう，よろしくお願い致します！

【壱】　平成27年度（第7回）総会開催の報告

去る5月30日（土）15時より新潟会館において，東京より（一社）協力隊を育てる会・足立房夫会長をお招きし，「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第7回総会を開催しました．議事の内容は昨年度の活動報告及び決算報告，今年度の活動計画と予算を審議して頂きました．数年前にも提案がありましたが，会費納入を口座引き落としが希望選択できるように検討，着手することになりました．

第二部の一般公開講演会では，羽賀友信会長より「青年海外協力隊50周年とこれからの可能性」というテーマで講演して頂きました．

第三部の帰国隊員報告会では，齋藤勇太さん（H24-3／エクアドル共和国／野球）と大川恵理子さん（H23-1／ネパール連邦民主共和国／村落開発普及員）の2人の青年海外協力隊員に帰国報告をして頂きました．ご存知のように齋藤さんは昨年エクアドルから野球チームを連れてきた本人です．また，大川さんは今年のネパール大震災の支援活動にも関わっておられます．

第四部の懇親会では，今回は前会長の平山征夫氏の叙勲のお祝いと6年間の感謝を兼ねて盛会に行われました．

最後に，引き続きライオンズクラブやロータリークラブ，更には青年会議所の例会での講演をするにあたり，是非クラブをご紹介して頂きたくお願いします．更に，広告協賛社を募集しています．1年間「なじらね.jp」とホームページに広告を掲載し，たったの1万円です．「なじらね.jp」をご覧頂き，参考にして下さい．

（ 文 ： 横山 容司郎 ／ 写真 ： 山田 規央 ）

足立氏の挨拶

聴講者の皆さん

羽賀会長講演

齋藤OBの報告

大川OGの報告

平山氏への記念品贈呈

Mr.モリックの秘技「モリノミクス」健在！

「若いカ」合唱

ハイチーズ

～ さまざまな生活文化ルポ「任国の野菜づくり」（7頁）の写真 ～

【弐】　本県出身のJICAボランティア が任国へ赴任！
（平成26年度4次隊，平成27年度1次隊）

本県出身の青年海外協力隊(JV)・シニア海外ボランティア(SV)の平成26年度4次隊（H26-4）新隊員4人（JV 4人＋SV 0人）が平成27年3月下旬に，平成27年度1次隊（H27-1）新隊員10人（JV 10人＋SV 0人）が平成27年6月下旬にそれぞれの任国へと出発しました．新隊員は訓練所での約70日間の派遣前訓練終了後に本県に帰郷し，それぞれ3月20日，6月24日に新潟県庁および新潟県国際交流協会に表敬訪問を行ない，両日共に当会からは横山事務局長が同伴致しました．これに併せ，直近に帰国していた本県出身隊員も同行し，帰国報告を行ないました．

また，毎回恒例の新隊員壮行会＆帰国隊員慰労会を表敬訪問日の夜に新潟県青年海外協力協会（JOCA新潟）と共催で実施しました．当会としては，任国で活躍する本県出身隊員の活動を地域ぐるみでサポートしていけるように取り組んでいきます．　表敬訪問に参加した各隊員を紹介します．

新隊員（H26-4）		任国	職種
JV	①根立 早織 さん	パラグアイ共和国	看護師
	②羽田 ちひろ さん	ホンジュラス共和国	理学療法士
	③山口 陽平 さん	カメルーン共和国	コミュニティ開発
	④渡辺 明枝 さん	マレーシア	ソーシャルワーカー

①現地の方のお役に立てるよう，頑張ります．

②とにかく元気に帰ってきたいです．笑顔で頑張ります．

③人との出会いを大切にして，明るく前向きに2年間頑張りたいと思います．

④現地でも“明枝スマイル”でがんばってきます☆

帰国隊員（1月帰国）　SV：H24-3・加藤康雄さん（エルサルバドル共和国／栽培・流通）
JV：H24-3・齋藤勇太さん（エクアドル共和国／野球），米澤太一さん（タンザニア共和国／理数科教師）

新隊員（H27-1）		任国	職種
JV	①青木 淳子 さん	フィリピン共和国	コミュニティ開発
	②五十嵐 隼人さん	グァテマラ共和国	小学校教育
	③大橋 ひかる さん	インドネシア共和国	公衆衛生
	④鈴木 裕子 さん	インドネシア共和国	公衆衛生
	⑤高橋 裕 さん	ザンビア共和国	理科教育
	⑥中山 碧美 さん	マラウィ共和国	青少年活動
	⑦野水 寛海 さん	マラウィ共和国	コミュニティ開発
	⑧羽田 達矢 さん	フィリピン共和国	防災・災害対策
	⑨藤塚 依美 さん	カンボジア王国	看護師
	⑩藤原 明子 さん	パナマ共和国	数学教育

①現地の人と協力しながらバリアフリーや障がい者の支援に挑戦していきたい．

②健康第一でがんばります．

③任地の住人の方々の心に沿った活動ができるように努めます．

④地域の方々と一緒に楽しみながら活動したい．

⑤できることをできる範囲で一生懸命やりたい．

⑥現地の人々と同じ目線で，楽しんで2年間の活動・生活を送りたい

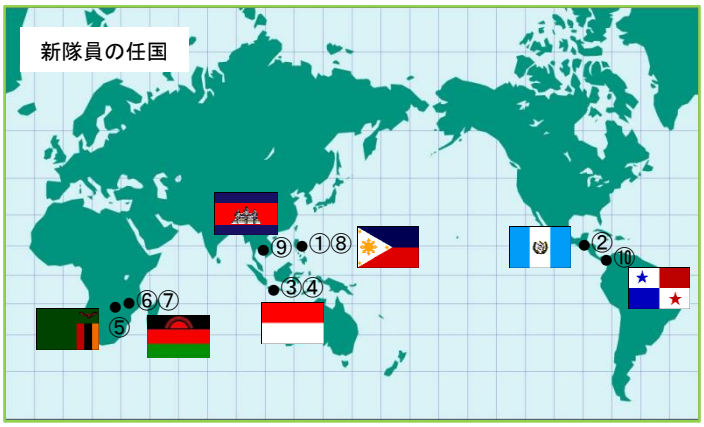
⑦現地の方々と生活を共にして，草の根の活動をしていきたいです．

⑧消防士としての経験と新潟の震災復興の実績を絡めて伝えていきたいです．

⑨健康第一！

⑩笑顔を忘れず，出会いを大切にして，現地の方々と楽しく活動していきます

帰国隊員（6月帰国）　JV：H25-1　冨井愛（モンゴル／音楽）



地図と国旗は「世界地図・世界の国旗」HPより引用　（　http://www.abysse.co.jp/world/index.html　）

（文：山田 規央 ／ 写真：横山 容司郎）

北 愛子　Ms. Aiko KITA , JV
（平成26年度2次隊／マラウィ共和国／青少年活動）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

約1年間マラウィで生活してきて，この国は私にとってすっかり「生活の場」となりました．来る前はwarm heart of Africaと呼ばれているマラウイに理想だけを抱いて来たけれど，生活するにつれ当然様々な問題も見えるようになりました．そして当たり前ですがマラウィの人々も日本と同じように笑ったり悩んだりしながら生活しているのだな，と実感しています．そんな彼らと日々一緒に過ごし，話し，仲良くなり，多少の人間関係のいざこざにも巻き込まれたりもして，もうマラウィは理想の国ではなく，生活の場です．しかし，ただ理想を抱いていた時よりも実際に現地の人の優しさにも触れ，笑いあえる友達もできた今，マラウイに対する愛着は強くなっているように感じます．ベタな言い方かもしれませんがマラウィは私にとって第二の故郷と呼べる国かもしれません．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

世界最貧国のうちの一つと呼ばれているマラウィ．確かに生活の所々で貧しさを感じることはあります．靴を履いていない人．ボロボロの服を着ている人．一粒のガムを5人くらいでシェアするこどもたち，など．でもそんな生活環境の中，人々は楽しそうに生活しているようにみえます．ゆったりと時間に追われることもなく，自給自足をする生活．家族や友達とのおしゃべりを一番の楽しみにしている生活．夜には家族団らんで歌ったり笑いあったりする声が聞こえてきます．お金がないからこそ助け合う，シェアする．そんな文化が根付いているように思います．

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

教師研修センターに派遣され，表現芸術（音楽・体育・図工など）科目の質の向上のために活動しています．マラウイの学校の現状は，実践が重視されるはずの表現芸術科目の授業が座学で終わっていたり，先生の知識や実践するための道具がないために授業自体が行われていないということがあります．それを実践中心の授業展開ができるようにサポートしたり，こども達の創造力の向上のために活動することが私の活動の大目標です．具体的には先生を対象にワークショップ（WS）を開き，正しい知識を伝えたりどう授業を展開するかを一緒に考えたりしています．また，最近近くの学校で表現芸術クラブを立ち上げ，現地の先生と協力しながらこども達に表現活動をする機会を作りました．私の活動でこども達が少しでも創造することの楽しさ，考えることの楽しさを実感できたらいいな，と思っています．

Q4;これまでに嬉しかったこと，辛かったことは？

嬉しかったことは，教員に対してWSを行なった時に「あなたは良い先生ね」「もっとワークショップを開いてほしい」と言ってもらえたことです．必死に準備を進めてきたWSだったので，褒められたこともちろん嬉しかったのですが，何より，先生が自らもっと学びたいと思ってくれたのが嬉しかったです．私の活動が少しでも先生のモチベーションにつながったのかなと思えた瞬間でした．

辛かったというか，落ち込んだのは，WSを開くのときに現地の人の協力は不可欠なのですが，今まで協力してくれていた人が当日になって「私知らない」と責任放棄してしまい，WSが開けなくなってしまった時です．実際にはWSを開く際の資金が足りなかったのですが，それを正直に言わずに「知らない」の一言．信頼していた人が突然の責任放棄だったので，これはすこし凹みました．責任という概念があまりなさそうなので，活動をするのに少し苦労するところです．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

今後は1年目で築き上げた活動の基盤をさらに発展させていきたいと思っています．あくまでも主体は現地の人々，というスタンスで現地の先生やこどもたちのモチベーションを上げられるような活動ができたらいいなと思います．また，日本人の私だからこそ出来ることにも挑戦してみたいです．例えば，日本の学校との手紙交換．日本とマラウィのこども達を繋いで，どちらのこどもにとってもいい刺激になればと思います．

渡辺 明枝　Ms. Akie WATANABE , JV
（平成26年度4次隊／マレーシア／ソーシャルワーカー）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

マレーシアは都会の面と，いわゆる東南アジアでイメージするような町が混在しており，私にとってはとても味わい深い町です．また，周囲には島々も多く，その島々は美しい海に囲まれています．マレーシアは都会と東南アジアらしさ，自然．これらを一度に味わえる場所だと思います．

患者さんとアクティビティ

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

インフラはほぼ整っており，安定した生活を送ることができます．マレーシアは2020年までに先進国入りを目指しています．

マレー系，中華系，インド系，その他在マ外国人などなど，様々なバックグラウンドを持った人々が，それぞれを尊重して生活しています．見た目や母語，宗教などそれぞれ違います．経営者が何系かでお店の雰囲気も違ったり，遊びに行く場所も何系の友達と行くかで違ったり，飽きることがない！共通はみんな遅刻には寛容かな（笑）

ドリアン，ドリアンライス

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

公立総合病院の精神科に付属している精神保健福祉センターで患者さんのリワーク支援を行っています．センターに来所した患者さんと軽作業を行ったり，患者さんを雇用している会社やお店を訪問し，就労に問題がないかアセスメントし，就労が継続できるよう支援しています．

Q4;これまでに嬉しかったこと，辛かったことは？

嬉しいことは実年齢より若く見られること！バス・タクシーに乗れば「学生？」と聞かれる日々です．ドライバーズのみなさんの予想年齢最年少は19歳です（笑）

辛いことは職業特性（私はソーシャルワーカー．周りは医者や看護師，その他専門職で教育レベルが高い方々です），合わせて言語の問題などで，支援の内容等で他の専門職に軽～くあしらわれることがあります．特に医療サイドからのアプローチ，福祉サイドからのアプローチというように患者さんへのアプローチ方法が違う場合には，私の提案は理解が得られないことも多いです．

職場で同僚と

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

活動については，センターが患者さんにとって充実していて，頼れる場になるような環境作りをしていきたいと思います．

生活面では健康と安全に注意しつつ，楽しみながら充実した2年間になるように過ごしてきたいと思います．

前谷 明日香　Ms. Asuka MAETANI , JV（OV）
（平成24年度3次隊／モザンビーク共和国／PCインストラクター）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

私の任地は村中が知り合いのような小さな村で，また配属先の学校が全寮制で教員も同じ敷地内で生活していたので，大きな家族ができた様でした．いつも頼りない私を，近所のお母さんや同僚，生徒までもが心配してくれました．10分先の市場に買い物に行くにも，向かう途中で知り合いに話しかけられ1時間かかって買い物を済ませていました．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

現地の人々の生活では，特に水の確保が大きな問題でした．水道はありましたが，全ての家にあるわけではなく，また毎日水が出るわけではなかったので水汲みは大切な家事の1つです．また，炊事をするにも，まだまだ薪や炭で火を起こしているので，多くの時間が必要でした．さらに，村の中心を出るとその生活はさらに困難になります．電気・水道がなく，市場へも遠い家がまだまだたくさんあります．その他にも，不自由な点を挙げればきりがありません．それでも，彼らの生活はつらさだけではないことがよく分かりました．家族で夕食の準備をしたり，近所の人とおしゃべりしたりする光景や，つらい体験も励ましあうところを見ていると，見習いたいと思うことが多くありました．生活する中で，たくさん笑いました．怒っても，忘れるようになりました．

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

小学校の教員を養成する学校で，PCインストラクターとして，将来の小学校の先生である生徒に向け基本的なPCの操作を教えました．また，授業時間外の教室の開放を行い，生徒と環境啓発のポスターや授業で使えそうな教材をパワーポイントで作成したりと楽しくPCを学ぶことを目標に活動しました．

生徒たちと作成したポスター

Q4;任期中，嬉しかったこと，辛かったことは？

ショックだったことになりますが，2年間の活動の中で，生徒が3人亡くなったことです．また，生徒の父母や夫を含めると数えきれない方々が亡くなりました．両親のいない生徒も多く，医療体制の脆弱さを実感しました．嬉しかったことは，2年目の授業では生徒が積極的に参加してくれるようになったこと．また，卒業した生徒が，授業で教えたExcelを使って仕事をしていると連絡をしてきてくれたことです．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

ITの分野の知識を活かして，いずれ何かの形でモザンビークと日本とに貢献できることを目指しています．今までお世話になった方々に恩返しができたらと思っています．

大野 美幸　Ms. Miyuki OHNO, JV（OV）
（平成24年度3次隊／ドミニカ共和国／音楽）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

日本の5倍とも6倍とも言われている紫外線を放つ灼熱の太陽，そこに照らし出される真っ青なカリブ海，そしてそのカリブ海に浮かぶ島で暮らす最高に陽気な人々，正にそこは『カリブの楽園』です．そんな地球の反対側にある国ドミニカ共和国は，日本では得られない経験や考え方，たくさんの素晴らしい仲間と出会わせてくれた私にとってかけがえのない場所です．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

首都でホームステイでの生活でしたが，思っていたほど日本と変わらないと感じました．平日は，バス，地下鉄，乗り合いタクシーなどを使って通勤・通学します．休日は家でのんびり過ごしたり，教会に行ったりします．現地での生活は，頻繁に停電する，水道水が飲めない，トイレットペーパーを流せないなど不便な面を数えればきりがありませんが，現地の人々はこれが普通の生活で私も意外とすぐに慣れました．貧富の差は大きいですが，みんな助け合って生きているという印象を受けました．

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

私の配属先は，1538年創立のアメリカ大陸の中で最も古い大学で，ドミニカ共和国で唯一の国立大学です．そこの音楽学部内で学生達に主にチェロの指導を行っていました．また，ソルフェージュの授業やオーケストラの指導も並行して行いました．配属先以外には，日系人が通う小学校で週に一度，日本の音楽を主とした鍵盤ハーモニカや歌の授業も行いました．

Q4;任期中，嬉しかったこと，辛かったことは？

嬉しかったことは，学生達が私の拙い指導で一生懸命練習して上達してくれたこと，そんな素晴らしい学生と出会えたことです．また，帰国後に2人の学生からメールがあり，現地で一番難関とされている音楽学校にチェロで合格したという報告がありました．本当に嬉しかったです．

言葉が上手く通じず悔しい思いをしたこと，約束を守ってくれなくて腹の立ったこと，仲間とお別れをしなければならず寂しかったことはありますが，辛かったことは思いつきませんでした．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

今は実家の自営業の手伝いと，チェロのレッスンを少ししています．帰国して早8カ月，今後の具体的な予定は検討中ですが，音楽教育に携わること，世界を知ること，この2つが今後の予定であり抱負です．

【さまざまな生活文化ルポ】第10弾

任国の“野菜づくり”

現地リポーター：刈屋（かりや） 将志（まさし），JV
平成26年度3次隊
ベネズエラ・ボリバル共和国
野菜栽培

私は，ベネズエラの中央やや南西に位置する，グアナリートという町の職能訓練開発校でボランティア活動をしています．ここでは，見渡す限りの平原に，牛が放牧され，時期によっては，スイカやトウモロコシ，ユカ（芋の一種），メロン，玉ねぎなどが大規模に栽培されており，「暑い北海道」といった感じの地域です．最初の頃の印象は，「えっ，めっちゃ普通じゃないすか？」でした．普通とは，日本での栽培風景と変わらない，という意味です．まず，除草剤で畑の草を枯らし，耕耘にはトラクタを用いて，播種機を用いて播種，と同時に肥料を撒き，栽培期間中は，殺虫剤や除草剤をふんだんに撒いて，畑をきれいに保ち（任地の人々はとてもきれい好き），後は，収穫．学校で栽培されている野菜の種類も日本でもおなじみの種類が多く，キュウリ，なす，トマト，ぴーまん，シシトウ，とうもろこし等々．野菜の市場価格は，着任当初は高くなかったのですが，物不足による急激なインフレの影響によって，その価格を大幅に上げ，現在は誰もが気軽に買える値段ではありません．また，そもそも私の任地では，一般的に野菜を食べる習慣はあまりない上に，現在では主食のトウモロコシ粉・パスタ・米がほとんど手にいらないので，人々も益々「野菜どころではない」，といった印象です．また，日本のように小作でやっている人は少なく，ある一定以上のお金と野心を持った地主達が労働者を雇って畑や牧場を管理しています．地主クラスの人々と労働者の経済的な格差はとても大きいです．

気候の話をします．ベネズエラには，四季がなく気温はほぼ一定で，私の任地に限って言えば一年中30度超えの日々なので，基本的には一年中播種できます．一年中です．栽培適期はありますが，「旬」という言葉は（スペイン語辞書にはあるけれど）未だに聞いたことはないです．天候も比較的穏やかで，雨季のスコールを除けば，地震も台風もなく，雪も降りません．私が暮らしていた栃尾（現長岡市）の農業は「野菜は年一回勝負！失敗したら終わり！」という，ストイックな緊張感の中で行われ，そんな慌ただしい暮らしの中で，「一年はあっという間」だと思っていました．それに比べて任地の季節の変わり目がない暮らしは，とても淡々としています．が，しかし，淡々としていれば淡々としているで，気づくとあっという間に時間が過ぎていくなあ，と感じています．以上，任地での野菜作りenベネスエラでした．

～気になる写真は2頁を参照！～（紙面の都合上，別頁にて掲載）

【四】 「世界から地域へ ― 青年海外協力隊発足50周年記念シンポジウム」開催報告（当会後援事業）

8月30日（日），新潟ユニゾンプラザにて，にいがた青年海外協力隊を育てる会と新潟県青年海外協力協会に共催頂きまして青年海外協力隊発足50周年記念シンポジウム―世界から地域へ―を開催しました．前半では映画「チョコラ！」の上映，後半では5名のパネリストを迎えパネルトーク「無関心の先に見えるもの」を行いました．

映画では，ケニアのストリート・チルドレンの日常が映し出され，その厳しい生活環境や背景，NGOや親との関係が丁寧に提示されていきました．全編に響くアフリカの民族楽器「親指ピアノ」の音色に揺られつつ，ストリートで儚くも強かに生きる子どもたちの姿を見つめました．

パネルトークでは，にいがた青年海外協力隊を育てる会会長，長岡市国際交流センター長の羽賀友信氏にコーディネーターをお願いし，小林茂監督とJICAボランティアの経験者の3方，佐竹直子氏（NPO法人 多世代交流館になーナ代表），河内毅氏（公益社団法人中越防災安全推進機構 地域防災力センター長），佐藤俊也氏（JICA東京 地域連携課課長）にパネラーとして加わって頂きました．

初めに，羽賀会長から，タイトルの元となったマザーテレサの言葉「愛の反対は憎しみではなく無関心である」を引用頂き，健全な社会をつくっていくために地域からどのように取り組んでいけるのだろうかという問題提起を頂きました．パネラーの皆さんからは，協力隊の経験や帰国後の活動から学ばれた支援のあり方について，また今見つめている日本の課題について，限られた時間ではありましたがお話し頂けました．トークの詳細はJICA東京のHP内トピックにも掲載させて頂いておりますのでそちらもぜひご覧下さい．

当日はOB・OGを中心にお集まり頂き，スタッフとしてもお手伝い頂きまして，無事に終えることができました．本当にありがとうございました．

（文：和田 直 ／ 写真：和田直，渡部悟）

県北からも，青年海外協力隊を応援しています！
ケーブル・ハーネス加工，電装品・制御盤の組立
株式会社 興栄電機
KOUEI Electric Co.,ltd.
〒959-3121
新潟県村上市佐々木577
Tel. 0254-62-5653, Fax. 0254-62-5650
URL http://www.koueielectric.jp

電気が使える『あたりまえ』私たちが支えます．
電気工事，土木工事，とび土工，機械器具設置，消防設備工事
胎内電建工業株式会社
〒959-2657
新潟県胎内市江上966
Tel. 0254-43-5345, Fax. 0254-43-5389
URL http://tainaidenken.com

私達は協力隊応援団です！
果物のことは大野青果に！
新潟市中央卸売市場
大野青果 株式会社
代表取締役 大野 修
〒950-0114
新潟県新潟市江南区茗荷谷711
Tel. 025-257-6220, Fax. 025-257-6219

- INFORMATION -

1. 平成27年度JICAボランティア秋募集のご案内

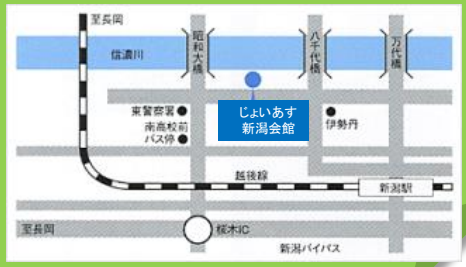
平成27年10月1日(木)～11月2日(月)の期間，青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア(20-39歳)，シニア海外ボランティア(40-69歳)の志願者の募集が行なわれます．応募に関する詳細は，下記へご連絡またはJICA公式HPでご確認下さい．

《体験談＆説明会》◆上越会場：平成27年9月26日（土）10:00～　上越市市民プラザ 2階・上越市国際交流センター
◆新潟会場：平成27年10月3日（土）14:00～　えきまえオフィス貸し会議室 7階・大会議室
◆長岡会場：平成27年10月17日（土）14:30～　長岡市国際交流センター・地球広場

【お問い合わせ】JICA新潟デスク・和田さん　Tel. 025-290-5650 / Fax. 025-249-8122，JICA公式HP　http://www.jica.go.jp

2. 平成27年度JICAボランティア家族連絡会のご案内

日時：平成27年11月7日(土)，13:30～（予定）
会場：じょいあす新潟会館　3階「ぼたん」　⇒
（新潟市中央区幸西3-3-1　Tel. 025-247-9307）
内容：JICAボランティア事業説明，帰国隊員報告会，OVと留守家族の懇談
懇親会（17:15～，同会場にて，4,500円）　※お誘い合わせ可．
【お問い合わせ】当会事務局まで（会員には後日ご案内を郵送）



3. 2016(平成28)年版カレンダー販売のご案内

来年のカレンダーを販売致しますので，購入後希望の方は当会事務局までご連絡お願いします（下記参照）．

新潟県から派遣される新隊員の壮行会および新潟に帰国した隊員の慰労会は年4回(3月，6月，9月，12月)開催．案内はMLで配信！

（写真：横山 容司郎）

協賛募集広告

私達は新潟から青年海外協力隊を応援しています！
金属加工のことならABCにお任せ下さい

相場産業株式会社
〒955-0814
新潟県三条市金子新田1691-5
Tel. 0256-35-7460, Fax. 0256-35-7462
URL　http://www.abc-tool.co.jp

壊れた自転車は，電話一本でOK！
出張修理専門
(新潟駅南地区限定)
動く自転車屋
森田 敏明

〒950-0941
新潟県新潟市中央区女池7-10-3
Mobile 090-9009-4709
URL　http://ugoku-jitensyaya.com

感動と夢，そして感謝
21世紀の生涯学習を推進する
株式会社アルファブライト
〒950-2012
新潟県新潟市西区小針台1-15
Tel. 025-234-1000, Fax. 025-234-1002
URL　http://alpha-bright.co.jp

協賛広告
募集中！

世界にはばたこう，日本の心！
そやま接骨院
院長　楚山 恭男
〒940-1165
新潟県長岡市水梨町1106-15
Tel. & Fax. 0258-22-3654

静かな森と美しい庭園
新潟五頭温泉郷 村杉温泉 環翠楼（かんすいろう）
〒959-1928
新潟県阿賀野市村杉温泉
Tel. 0250-66-2131
Fax. 0250-66-2553
URL　http://kansuirou.jp

2016年版カレンダーを販売します！

●**仕様**：　A4版フルカラー14頁，壁掛け型
●**価格**（単価）：　700円，3部以上で500円
※送料は当会負担
●**購入方法**：　当会までお申し込み頂くか，直接お買い求めに来て頂きます．
詳しくは事務局（担当 渡辺）までEメールか電話にてご連絡下さい．

戦後70年にあたる今年，青年海外協力隊は発足後半世紀が経ちました．JICAボランティアは外交の最前線とも言われる一方で，個人の経験としての海外ボランティア活動でもあります．一人一人が有意義な活動を行なう中でこの事業が今後の国際的な融和・平和に寄与して行けるよう，当会もできる協力をしていけたらよいと思います．　（พริกไทย）